

しんぶん赤旗 を
お読みください
日刊3,497円／月
日曜版823円／月
申込み 363-1450

民主なかがわ

第178号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
<http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/>

地域の声集めた両郡橋を

新川にかかる両郡橋（中川区下之一色町）港区船頭場の名古屋市の改築計画（案）に対して住民の意見を出し合おう、と「両郡橋のかけかえを考える集い」が、7月22日開催されました。主催は日本共産党一色支部です。

人道橋なら用地買収なし

今年2月、名古屋市は、正江橋（仮称、市道万場藤

等、地域への負担を最小限に、というものです。

前線）が2021年3月までに完成することに伴い、約500m下流にある両郡橋は、自動車が通行できない人道橋（歩行者・自転車のみ通行可）にする計画を発表しました。理由は、①交通需要の低下：将来的に車両交通の大半は正江橋へ移行 ②地域の安全性向上：抜け道としての利用がなくなり、安全な道路へ ③工事範囲の縮小：用地買収

一方、車道橋案の場合、①堤防の高低差（現行より約1m高）をなくすには、延長約100mの取り付け道路が必要②取付区間では民地との高低差が発生してしまうため、沿線住民の出入りのためには両側に、側道（幅員4m）の整備が必要③側道になる部分は現在住宅地や商店街の土地であるため、土地を買収することが必要。名古屋市は、これらの理由から人道橋を提案しました。

大阪北部地震、西日本や岐阜の豪雨災害、台風12号による被害、そして、特に7月14日からの猛暑。自然現象とはいえ、この原因に地球温暖化があることは間違いないでしょう▼まさに、猛暑は災害。ブロック塀除去への補助に加え、生け垣や金属フェンスへの補助がもっと求められます

そして、熱中症対策です▼熱中症で多くの方がなくなっています。特に、豊田の小学生の死は痛ましいものです。涼しくするには、エアコン。高齢者の方の痛ましい事故が後を絶ちません。エアコンがない。あってもつけず、扇風機で。高齢者の方の気持ちも大切ですが、命の危機です。根底に苦しい生活があるのではないのでしょうか。命を守る最低限の健康で文化的な生活を保障するのは国や名古屋市の責任です▼生活保護のエアコン設置促進も重要です。そうでない方もお金の心配をせずエアコン利用ができ

異常気象と地球温暖化

市議 江上ひろゆき

もの将来をどうしていくか、と一体で考える必要がある」「自動車道にする」という意見もありました。

「町のメインストリートである本町通の延長線で、自動車が通行できないことは、まちの衰退をさらに促進する」「自動車が通行できないと、ますます人が町に来なくなる」「庄内川にかかる正徳橋が人道橋としてあるがあまり利用されていない」「など車利用を求めない声、」「自動車が入ってこない分、歩行者優先でゆっくり歩くことができるようになる」「一色のまちその



司会は服部さん、活発な意見が出ました。江上博之市議（正面左）



じっくり地域の声聞け

「用地買収はなしで、地域の声を集める。自治会や様々な声を集めて、名古屋市に要望を出していこう」と提案されました。

「住民が主人公のまちづくりになるように」と江上博之市議は発言しました。

弁護士相談 8月9日午後6時半（木）電話連絡 363-1450 江上事務所

参院選、市議選勝利向け宣伝

安倍政権を退陣させよう、名を国会へ。愛知選挙区で倒すためにも市民と野党の共闘を進める日本共産党の躍進を、と毎週月曜日朝、金山駅北口で、日本共産党は、すやま初美さんを先頭に、宣伝を続けています。

市民と野党の共闘を

7月23日、江上博之市議も参加しました。国の悪政を変える参院選で、比例代表850万票を獲得し、7



憲法守ろう3000万署名

安倍9条改憲NO!をの意志を示そうと3000万署名が取り組まれています。中川アキションや中川革新懇のみなさんは、憲法9条にちなむ「9の日」、戦争法が強行された「19の日」、そして、土曜日を中心に署名活動に取り組んでいます。11月3日までに、中川区では、37000筆目標で、現在12072筆（7月20日現在）です。



木造天守は計画通りいかず

自公民減木材契約賛成

名古屋市中区6月議会本会議質問で、江上博之市議は、2022年天守閣木造化のための「木材契約」の問題点を指摘しま



した。結果は、7月4日、本会議で、約95億円の木材契約を竹中工務店と締結することが日本共産党以外の自民、公明、民主、減税の賛成で議決されました。しかし、計画は予定通りに進まず、工事が遅れば1年間で1億円の木材保管料が増えることも明らかにしました。

有識者は市計画認めず

7月13日、有識者による「特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会」は、「石垣保全は危機的な状態」であり、名

古屋市の計画は「承服しがたい」と、市の計画を認めませんでした。

現天守の解体、木造化

のために、特別史跡として「本質的価値がある石垣」が保全されていることが必要です。文化庁は、有識者の意見を聞いて進める姿勢であり、現時点で、文化庁の「現状変更許可」が出る見通しがない、ということが明らかになりました。

マスコミ報道では、文

化庁の文化審議会が開催される10月、あるいは、来年5月開催時に許可答申を出すかのような論調がありますが、見通しが

ない、というのが事実です。

計画見直ししかない

河村市長の木造化計画では、2022年12月天守完成後、9年かけて、天守台石垣保全を行う計画ですが、石垣保全がなければ現天守の解体、木造化もできない、ということになり、計画は大きく変更となります。

いったん立ち止まって

市民の声を聞け、この声が正論になってきました。魅力ある名古屋城と市民生活向上の両立が求められます。

人命より賭博か

7月20日、延長国会で、被災者支援を第一にするのではなく、「カジノで負けた人の金でまちづくり」というカジノ法案が、自民党、公明党、維新の会の賛成で議決されました。日本共産党は反対しました。

河村氏名駅にカジノを

その日、河村名古屋市長は、「名古屋駅にカジノを」と発言しました。21日、江上博之市議は、中川区戸田のスーパー前で、人命よりカジノを優先する政治を批判。さらに、河村市長の発



国際会議場改修の論議

7月26日、熱田区日比野にある国際会議場センターホールは、はじめ関連施設の改修、増設、事業手法などについての調査報告書の内容が市議会経済水道委員会で報告されました。江上博之市議は、国際会議場の名古屋市中区としての設置目的、建設後30年近く経て利用率は7割で十分活用されているが目的の達成度など総括し、これからのあり方について質疑しました。名古屋

8月早朝宣伝

市として設置する以上、地域産業の振興、地域経済の活性化、住民福祉に役立つなど目標を持って事業を進めることを求めました。

3日	金	近鉄戸田
6日	月	あおなみ線小本
7日	火	下之一色
10日	金	高畑
21日	火	名鉄山王
24日	金	あおなみ線中島
28日	火	近鉄伏屋
30日	木	あおなみ線荒子
31日	金	JR尾頭橋
朝7時半から8時10分		
8月15日終戦記念日		
11時	尾頭橋ツルハ前	
11時20分	五女子	

無料相談 (子育て・教育問題も) 毎週月・木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450